

# 水無湿性植物希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	中部森林管理局・富山森林管理署
所在地	富山県南砺市
面積	215.59ha
設定年	平成16年4月1日設定、平成29年4月1日変更
保護林の概要 (設定目的)	ミズバショウ、リュウキンカ、コバイケイソウ、カタクリ、ヤマトリカブト等が見られる貴重な湿原及び周囲は100年を越す貴重なブナの天然林であるため、それらの個体群の保護・管理を図る。



## モニタリング調査の概要

実施年度	令和3年度
調査項目	森林詳細調査、高山植生等調査、資料調査、聞き取り調査
調査手法	森林詳細調査として調査プロットを2箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握する。 高山植生等調査として調査プロット（5m×5m）を3箇所設定し、プロット内に出現した種について、階層ごとに種名、被度・郡度を記録すると共に、プロット内の主要な種の分布状況を模式図で記録する。
結果概要	イノシシによる植生被害の影響が懸念される。また、エゾノギシギシなど外来種の侵入が確認された。 ミズバショウやヤマトリカブト等の湿地性の種の減少が見られ、湿原の陸化・乾燥化の影響が懸念される。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

# 海尻ミズナラ等遺伝資源希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	中部森林管理局・東信森林管理署
所在地	長野県南佐久郡南牧村
面積	9.49ha
設定年	平成元年4月1日設定、平成29年4月1日変更
保護林の概要 (設定目的)	ミズナラ、シオジ、サワグルミ、等が群生する天然林であるためこれらのミズナラ等の個体群の保護・管理を図る。



## モニタリング調査の概要

実施年度	令和3年度
調査項目	森林詳細調査、資料調査、聞き取り調査
調査手法	森林詳細調査として調査プロットを2箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握する。
結果概要	ニホンジカによる食害・剥皮被害が広がりつつある群落と考えられる。ミズナラへの剥皮被害の増加や後継樹の減少、下層植生の裸地化が進んでいる。 また、風倒害による倒木が散見される。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

# 赤谷コナラ等遺伝資源希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	中部森林管理局・東信森林管理署
所在地	長野県佐久市
面積	13.04ha
設定年	平成元年3月31日設定、平成29年4月1日変更
保護林の概要 (設定目的)	コナラ、ケヤキ、クリ等が群生する天然林であるため、それらの個体群の保護・管理を図る。



## モニタリング調査の概要

実施年度	令和3年度
調査項目	森林詳細調査、資料調査、聞き取り調査
調査手法	森林詳細調査として調査プロットを2箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握する。
結果概要	<p>ニホンジカによる下層植生への食害が大きい。下層植生の裸地化が進み、保護対象種の後継樹が減少している。</p> <p>過年度にカミキリムシによる樹勢の衰退が確認されていることから、今後のモニタリングで注視する。</p> <p>風倒害による倒木が散見されたが、面的な被害は確認されない。</p>

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

# 西岳・フウキ沢ヤツガタケトウヒ希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	中部森林管理局・南信森林管理署
所在地	長野県諏訪郡富士見町
面積	32.81ha
設定年	平成30年4月1日設定
保護林の概要 (設定目的)	ヤツガタケトウヒは八ヶ岳及び南アルプスのみに分布し、他に純林はないことから、混交しているカラマツとともに、貴重な遺伝資源として保存する。



## モニタリング調査の概要

実施年度	令和3年度
調査項目	森林詳細調査、資料調査、聞き取り調査
調査手法	森林詳細調査として調査プロットを4箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握する。
結果概要	<p>ニホンジカによる下層植生への食害が大きい群落である。現状において、剥皮防止資材等の対策が実施されている場所もあるが、保護対象種の後継樹が減少し、下層植生への食害が多数確認されている。</p> <p>風倒害による倒木が散見されたが、面的な被害は確認されない。</p> <p>林冠を構成している保護対象種は概ね順調に生長しているが、保護対象種の後継樹が減少し、ニホンジカによる下層植生の食害が懸念されることから、今後のモニタリングで注視する。</p>

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

# 神の石シダ希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	中部森林管理局・南信森林管理署
所在地	長野県飯田市上村
面積	20.14ha
設定年	昭和53年4月1日設定、平成30年4月1日変更
保護林の概要 (設定目的)	神の石の石灰岩地帯に自生するイノデ類のヤシャイノデは、中国大陸、ネパール、台湾に見られる。我が国では2箇所を数えるのみであり、そのうちのひとつである当群落を保護する。



## モニタリング調査の概要

実施年度	令和3年度
調査項目	森林詳細調査、資料調査、聞き取り調査
調査手法	森林詳細調査として調査プロットを2箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握する。
結果概要	<p>溪流部の増水により、一部植生が消失し、ヤシャイノデの消失・流出が確認された。</p> <p>シオジやサワラ、カツラ等の立木に大きな変化はなく森林が維持されており、保護対象種であるヤシャイノデの生育が確認されたことから、健全と判断される。</p> <p>ただし、溪流部の増水による植生の流出は今後も発生すると考えられることから、ヤシャイノデの流出状況を今後のモニタリングで注視する。</p>

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

# 段戸モミ・ツガ希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	中部森林管理局・愛知森林管理事務所
所在地	愛知県北設楽郡設楽町
面積	14.32ha
設定年	平成5年4月1日設定、平成30年4月1日変更
保護林の概要 (設定目的)	太平洋側の代表的なモミ・ツガ・ブナの天然林が見られるため保護を図る。



## モニタリング調査の概要

実施年度	令和3年度
調査項目	森林詳細調査、資料調査、聞き取り調査
調査手法	森林詳細調査として調査プロットを2箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握する。
結果概要	<p>スズタケの一斉枯死に伴う林内環境の変化がある。スズタケの再生については、名古屋大学等の研究機関との情報共有を継続し、知見の収集に努める。</p> <p>風倒木が散見されるが、保護対象種であるモミ・ツガが順調に生長しており、現状において森林全体に大きな被害は確認されない。</p>

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。